

五年に一度の奴振り

滋賀県選択無形民俗文化財の「奴振り」が5月1日、甲賀町油日の油日神社の例大祭で奉納されました。  
奴振りは千年以上の歴史を刻み、五年に一度行われる頭殿と呼ばれる祭主に従う供の行列のことで、氏子の集落を巡るみこしに、長持奴、鉄箱奴、毛槍奴などが加わり、趣向を凝らした振り付けと歌で練り歩きます。  
時折雨の降る中、2基のみこし行列と奴行列の総勢200人余りが、約13キロの道のりを勇壮に練り歩き、沿道の人々を楽しませていました。



▶独自の動きで練り歩く鉄箱奴

鮎河小でお花見給食



▶お花見給食を楽しむ児童

市立鮎河小学校の児童26人が4月18日、同校の近くを流れる「うぐい川」の満開の桜の下でお花見給食を楽しみました。  
「うぐい川」の桜は、市内を代表する名所で、地域の皆さんが丹精込めて世話をされています。開花時期には桜祭りが催され、県内外からの多くの観光客と地域の皆さんとの交流が行われますが、今年は東日本大震災で各種イベントが自粛されました。お花見給食で子どもたちは、花びらが時おり舞い降りる様子を楽しみながら、いつもとは一味違った給食に舌鼓を打っていました。

防犯対策はしっかりと、飲酒運転は止めましょう

「自転車盗難防止・飲酒運転防止」  
JR 貴生川駅前啓発活動

4月20日、水口町JR貴生川駅前で、同駅周辺で自転車盗難が多発していることや、未来のドライバーとなる同世代の中学生や高校生が飲酒運転の撲滅をはじめ交通安全意識を高めてもらうことを目的に、水口中学校ボランティア部17人の生徒らによる「自転車盗難防止・飲酒運転防止」の啓発活動が行われました。  
啓発活動は、信楽高校の協力を得て製作した啓発看板を設置した後、甲賀警察署員らとともにチラシやチェーン錠などの配布が行われました。  
生徒らは、自転車の盗難に遭った人も知っている、自分たちの活動で飲酒運転ゼロにつながればうれしい、と話していました。



▶一人ひとりに自転車盗難防止を呼びかけ

子ども議員が茶摘体験

かふか21子ども未来会議  
第二回地域会議

市内の小学4年生から中学1年生24名に委嘱された子ども議員が、4月29日、甲賀市特産物の「お茶」について学ぶために、現地でお茶摘体験を行いました。  
土山町頓宮茶園でお茶の栽培について説明を受けた後、県農業技術振興センター茶業指導所へ移動。手摘み、手作り製茶、手揉み製茶などを体験しました。  
体験の後は、緑茶ケーキや茶もちなどの試食も行い、あらためて地元産のお茶の良さを体感しました。  
この子ども議員の活動については、かふか21子ども未来会議実行委員会が主催し、今後市内において様々な体験活動をを通して、そこで得たものを市に提案・提言されます。  
子ども議員会は10月23日(日)に行われる予定です。



▶お茶の手摘みを体験

古城山の三十六景図展

あいこうが市民ホールで4月29日から5月8日まで、「くめおさむの古城山 三十六景図展」が開催され、画家として活躍される久米修さんの作品展が開かれました。  
作品は、四季折々、さまざまな視点から色鮮やかなもの、淡く描き出されたもの、墨で描かれたものなど「三十六景図」で、それぞれ違った表情の古城山が描かれています。なかには、資料を基に想像して描かれた「私の水口岡山城」をはじめ、中世に栄えた様子を表したものもあり、訪れた多くの皆さんが力作をくいのように観賞していました。



▶「私の水口岡山城」

水口岡山城のあった古城山の価値を見直し、関心を持ってもらおうという強い思いから企画されたそうです。

伴谷保育園・幼稚園

菜の花畑でお花摘み

伴谷保育園・幼稚園児100名が4月27日(水)、市内のNPO法人の農場へ菜の花摘みの体験に招待されました。



▶菜の花摘みを楽しむ園児

園から2kmほど離れた農場まで徒歩でやってきた園児は、色鮮やかな菜の花畑に歓声をあげ、元気に走り回ったり、花を摘んだりして春の一日を楽しみました。